

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001088
事業所名	グループホームフレンズハウス大塩

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 日頃から近隣を散歩しており、畑仕事をしている人と顔馴染みとなり、立話をするようになって来て時には収穫した野菜を貰う事もある。また、事業所に介護相談で訪問してくる人がおり助言している。月1回は防犯パトロール車に乗り夕方地域を回っている。今年度はフラダンスのボランティアを受け入れ利用者には好評であった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回開催している。会議の中で身体拘束の対応について質問があり、事業所では身体拘束を行っていない現状を説明している。会議後に職員間で再度話し合い、何が虐待にあたるのか再認識する事が出来た。また、スピーチロックについても注意を払うようになり、サービスの質の向上に繋がっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護課に利用者のケアプランを持参する時に、利用者の事で相談したり助言を貰っている。市主催のキャリアアップ研修に参加したり、いきいき支援センター主催の認知症サポーター研修に参加しサービスの質の向上に努めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の面会が多く毎日来る人や、電話をかけてくる人もいて、話す機会は多く要望など日頃から聞いており、要望に添えるように努めている。今年度の家族会は昨年の反省を踏まえて、少し時間を短くして開催している。家族には日頃の様子がわかるホーム便りを送付している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				